

コード	304020701
記入日	H24.5.17

課コード	111
課名	健康保険課
課長名	富永 重利
担当者	釜崎 信弘

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	各種予防接種事業
----------	----------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	4
施策コード	304	施策名称	ふれあい、支えあい、助けあい、みんなで育てよう未来の宝	項コード	1
基本事業コード	30402	基本事業名称	母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進	目コード	2
事務事業コード	3040207	事務事業名称	予防費	細目コード	689・1173
関連計画		法令・条例規則等	予防接種法・予防接種健康被害調査委員会規則		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1)	2類疾病対象者	(対象指標1)	7,468人 (H24.3.31現在65歳以上人口)			
(対象2)	その他の住民	(対象指標2)	14,786人			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		*****	*****	*****	世帯配布1回÷ 予定回数1回	*****
		① 周知文書配布回数	1回	100%		平成23年度
		(達成率分析)	予定どおり全世帯にお知らせを配布した。			
		②				
		(達成率分析)				
	・2類疾病対象者（インフルエンザ）だけでなく、全世帯に接種奨励のお知らせを配布した。					
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		*****	*****	*****	本年度接種者数÷ 前年度接種者数	*****
		① 2類疾病接種者数	5,256人	96.3%		平成23年度
		(達成率分析)	前年度とほぼ同数の人がインフルエンザ予防接種を受けている。			
		②				
		(達成率分析)	平成21・22年度の新型インフルエンザが落ち着き、季節性インフルエンザになったため、接種率が落ちたものと考える。			
	・重症化しやすい疾病の発生及びまん延を予防するため、予防接種を行い、公衆衛生の向上及び推進に寄与するとともに、予防接種による健康被害の迅速な救済を図ることを目的としている。					
		*****	*****	*****	本年度接種者数÷ 前年度接種者数	*****
		② その他の接種者数	7,298人	94.0%		平成23年度
		(達成率分析)	平成21・22年度の新型インフルエンザが落ち着き、季節性インフルエンザになったため、接種率が落ちたものと考える。			

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		22年度以前	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 回	6	6	5	1	1				
	②									
成果指標	① 人	27,917	26,673	21,417	5,866	5,256				
	② 人	38,044	37,984	30,686	7,326	7,298				
総事業費 C (A+B)	千円	80,960	81,357	64,684	16,276	16,673				
直接事業費 A	千円	59,960	60,357	47,884	12,076	12,473				
人件費 B	千円	21,000	21,000	16,800	4,200	4,200				
内訳	従事職員数	人	3.0	3.0	2.4	0.6	0.6			
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円								
一般財源	千円	80,960	81,357	64,684	16,276	16,673				

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 生	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	理 由	疾病の発生とまん延を予防することは、公衆衛生上最も重要な課題であるとする。
	有 効 性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理 由	発生率及び重症化を防ぐ上で効果はあるものとする。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理 由	より多くの人が接種することにより、疾病のまん延及び重症化を防ぐことは可能とする。
	効 率 性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	理 由	発生率及び重症化を防ぐ上で大きな成果を得ているとする。
		・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。	● 代えられる ● 代えられない	理 由	受益者負担の増を実施することも考えられるが、接種率の減に繋がる恐れがある。

改善 (ACTION)

1 次 評 価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	特になし。
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2 次 評 価	<p>新型インフルエンザが落ち着いた関係で接種率（者）が減少しているようであるが、インフルエンザに関しては住民の関心も高く、疾病の発生及びまん延を予防するうえで予防接種は重要であるとする。今後も受診率の向上に努めること。</p>
----------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業 の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。